

暑かった今年の夏ですが、ようやく秋がやってきました。秋を感じる瞬間は色々ありますが、ひとつは共に暮らす室内犬(シーズー)が、朝方、私の布団に潜り込んでくるようになったこと。もうひとつは生徒玄関の花たちが夏を乗り切り、水やりの回数が一日一回に減ったこと。

季節の移り変わりを感じています。

さて、今回は「校長雑感」です。

8月上旬に公開した第4号でも触れましたが、この夏、生徒会役員の熱い思いと行動により「アイスの自販機設置」が実現しました。設置当日にメディアからの取材があり、夕方のニュース番組で報道され、翌朝の全国放送でも取り上げられました。直後から驚くほどの反響があり、「あっぱれである。よくやった」とのメールや、設置から

1か月たった現在でも教育関係者や近隣の住民の方にお会いした際に「見たよ!」との反応をいただきます。さらに加賀市内の小中学校の先生方や、大聖寺高校の卒業生からも「よくやってくれた。大聖寺を応援しているから頑張っ!」など、ありがたい反応をいただいています。



図3：取材に応じる生徒会長

報道は、生徒会が主体的に事を進め、業者とのやり取りはもとより、教職員の懸念事項に対応したり、金銭面を含めた大人との交渉を行った「行動力」を褒める構成でした。私としては生徒会長のコメントに「大人と生徒が連携をとるといことが今までにはない経験だった」とあるように、実社会と生徒がかかわりを持ち課題解決のために連携した点が皆さまからの評価につながったと思います。

「生徒の主体性を育む学校」として地域から認識いただければ幸いです。

以下から動画が視聴できます。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kanazawa/20230828/3020016296.html>



図1：毎朝玄関で生徒を迎える花



図2：8/28(月) 自販機設置の様子

ウェブサイトの一般の方のコメントには「生徒自身が考えて行動し新しいことをやるということが校風として根付けばいいね」「変えるためにどう動くかを学べた生徒は今後の人生にも必ずこの経験を活かせる。変えるために動いた生徒も、変わることを認めた先生も、あっぱれです」「OKを出した大人の懐の深さにも拍手を送りたいです」などいただいています。



図4：取材に応じる校長